

微量 PCB 汚染物の焼却実証試験(第5回)の実施結果 環境省

The Knights

環境省は、昨年全国2箇所で行った微量 PCB 汚染物の焼却実証試験(第5回)の結果を公表しました。第5回の焼却実証試験では、数 10ppm 程度の PCB を含む絶縁油を使用していた OF ケーブル、変圧器及び、同様の絶縁油を保管していたドラム缶を試料とした試験を行い、いずれにおいても周辺環境に影響を及ぼすことなく安全かつ確実に PCB が分解されたことを確認しました。

現在、PCB を含有していないと思われていたトランス等の中に、実際には微量の PCB が混入した絶縁油を含むもの(以下、微量 PCB 混入廃電機器等)が大量に存在することが判明しており、これらの処理体制の整備が課題となっています。

環境省はその整備に向け、現在稼働中の産業廃棄物処理施設等において微量 PCB 混入廃電気機器等が安全かつ確実に処理できることを確認するため、今回を含め 5 回に渡り、上記試料以外にも PCB を含む絶縁油、PCB を含む絶縁油が含浸した木屑・紙屑、PCB を含む絶縁油入りコンデンサ等(いずれも数 10ppm 程度)を試料とした焼却実証試験を実施しており、いずれの試験においても試験試料中の PCB が安全かつ確実に分解されたことを確認しています。

環境省では今後も、協力が得られる他の施設において、焼却実証試験を実施していく予定としています。

当社では、絶縁油中の PCB 分析について多くのお客様からご依頼を頂き、多検体、短納期の体制で行っておりますので、是非お任せ下さい。

資料 2009 年 2 月 27 日付 環境省報道発表資料

クロマト分析箇所 神村悠介